

平成30年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成29年8月14日

上場会社名 株式会社 大田花き
 コード番号 7555 URL <http://www.otakaki.co.jp>
 代表者 (役職名) 代表執行役社長
 問合せ先責任者 (役職名) 執行役管理本部長
 四半期報告書提出予定日 平成29年8月14日
 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

上場取引所 東

(氏名) 磯村 信夫
 (氏名) 金子 和彦

TEL 03-3799-5571

(百万円未満切捨て)

1. 平成30年3月期第1四半期の連結業績(平成29年4月1日～平成29年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
30年3月期第1四半期	5,611	△9.0	△41	—	△18	—	△16	—
29年3月期第1四半期	6,169	0.4	△21	—	4	△72.3	△10	—

(注) 包括利益 30年3月期第1四半期 △16百万円 (—%) 29年3月期第1四半期 △10百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
30年3月期第1四半期	△3.16	—
29年3月期第1四半期	△1.97	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
30年3月期第1四半期	9,410	4,569	48.6	897.98
29年3月期	9,999	4,646	46.5	913.14

(参考) 自己資本 30年3月期第1四半期 4,569百万円 29年3月期 4,646百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
29年3月期	—	0.00	—	12.00	12.00
30年3月期	—				
30年3月期(予想)		0.00	—	12.00	12.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成30年3月期の連結業績予想(平成29年4月1日～平成30年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	29,812	10.4	148	792.2	165	164.6	119	287.2	23.44

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
 新規 — 社 (社名) 、 除外 — 社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注) 詳細は、添付資料7ページ「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数(四半期累計)

30年3月期1Q	5,500,000 株	29年3月期	5,500,000 株
30年3月期1Q	411,826 株	29年3月期	411,826 株
30年3月期1Q	5,088,174 株	29年3月期1Q	5,088,537 株

※四半期決算短信は四半期レビューの対象外です

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期連結貸借対照表	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	4
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	4
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	5
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	6
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	7

1. 当四半期決算に関する定性的情報

（1）経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、為替が円安基調で安定しており、輸出関連企業を中心に業績が回復しているものの、デフレ懸念を払拭しきれず国内の投資活動・個人消費は依然として横ばい圏での推移にとどまりました。

このような経済状況のもとで、当社グループは、冠婚葬祭の縮小や減少と生活者のライフスタイルの変化に伴い仏花の需要が減少し、相場を牽引していた菊類の価格が下がり、切花全体の価格を押し下げたことにより売上は前年同期を下回りました。しかし都市生活で自然を感じながら生活したいという欲求は益々強くなっており、切花では枝物、葉物、草花類、鉢物では観葉植物類の需要が高まっています。花きは農作物であるため栽培に一定の期間を要しますが、消費者からの情報収集、生産者への情報提供を強化することで現在の需給のミスマッチを解消できるものと考えております。一方コスト面では物流の合理化を推進し全社でコストカットに取り組んだ結果、販売費及び一般管理費は前年同期を下回ったものの、売上の減少を補うまでには至らず損益は前年同期を下回りました。

2017年5月に農業競争力強化支援法が成立し、国は卸売市場の改革を急いでいますが、当社グループは物流面での課題解決に向けて鮮度保持機能を備えた物流センターへの投資を既に済ませており、今後とも卸売市場としてのプレゼンスを高めていきたいと考えております。

このような結果、当第1四半期連結累計期間の業績は、売上高5,611,020千円（前年同四半期比9.0%減）、営業損失41,444千円（前年同四半期は21,689千円の営業損失）、経常損失は18,181千円（前年同四半期は4,013千円の経常利益）、親会社株主に帰属する四半期純損失は16,075千円（前年同四半期は10,032千円の親会社株主に帰属する四半期純損失）となりました。

なお、当社グループは花き卸売事業単一セグメントであるため、セグメント別の記載は行っておりません。

（2）財政状態に関する説明

当第1四半期連結会計期間末における総資産は9,410,752千円となり、前連結会計年度末に比べ588,969千円減少しました。これは主に売掛金が757,956千円減少し、現金及び預金が257,258千円増加したことなどによるものです。

負債は4,841,657千円となり、前連結会計年度末に比べ511,835千円減少しました。これは主に受託販売未払金が417,460千円、長期借入金が80,952千円、未払金が61,968千円減少したことなどによるものです。

純資産は4,569,094千円となり、前連結会計年度末に比べ77,133千円減少しました。これは剰余金の配当61,058千円、親会社株主に帰属する四半期純損失16,075千円の計上により利益剰余金が77,133千円減少したことによるものです。

（キャッシュ・フローの状況）

当第1四半期連結累計期間における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、前連結会計年度末と比較して257,258千円増加し2,415,527千円となっております。

当第1四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は以下のとおりであります。

営業活動の結果増加した資金は、377,279千円（前年同四半期は265,046千円の増加）となりました。主な増加要因は、売上債権の減少759,112千円、減価償却費75,200千円によるものです。また、主な減少要因は仕入債務の減少447,233千円、未払金の減少40,798千円によるものです。

投資活動の結果減少した資金は、34,339千円（前年同四半期は613,495千円の減少）となりました。主な減少要因は、有形固定資産の取得による支出28,387千円、貸付けによる支出28,000千円によるものです。また、増加要因は貸付金の回収による収入27,670千円によるものです。

財務活動の結果減少した資金は、85,681千円（前年同四半期は491,709千円の増加）となりました。主な減少要因は借入金の返済による支出80,952千円によるものです。

（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想につきましては、平成29年5月12日の「平成29年3月期決算短信」で公表いたしました通期の連結業績予想に変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成29年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成29年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,160,269	2,417,527
売掛金	1,906,959	1,149,003
商品	966	736
未収消費税等	90,417	90,417
その他	189,595	167,082
貸倒引当金	△4,607	—
流動資産合計	4,343,601	3,824,767
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	3,371,588	3,334,365
工具、器具及び備品（純額）	474,004	457,641
その他（純額）	131,521	132,433
有形固定資産合計	3,977,113	3,924,440
無形固定資産		
ソフトウェア	28,403	30,346
その他	4,265	4,265
無形固定資産合計	32,669	34,612
投資その他の資産	1,646,336	1,626,932
固定資産合計	5,656,119	5,585,985
資産合計	9,999,721	9,410,752
負債の部		
流動負債		
受託販売未払金	1,262,603	845,143
買掛金	68,234	38,241
1年内返済予定の長期借入金	323,808	323,808
未払金	101,000	39,031
未払法人税等	23,195	6,965
賞与引当金	26,000	49,000
その他	148,520	208,492
流動負債合計	1,953,360	1,510,682
固定負債		
長期借入金	2,589,894	2,508,942
退職給付に係る負債	309,047	318,317
資産除去債務	134,512	134,939
その他	366,678	368,775
固定負債合計	3,400,132	3,330,974
負債合計	5,353,492	4,841,657
純資産の部		
株主資本		
資本金	551,500	551,500
資本剰余金	402,866	402,866
利益剰余金	4,042,005	3,964,871
自己株式	△350,143	△350,143
株主資本合計	4,646,228	4,569,094
純資産合計	4,646,228	4,569,094
負債純資産合計	9,999,721	9,410,752

（2）四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

（四半期連結損益計算書）

（第1四半期連結累計期間）

（単位：千円）

	前第1四半期連結累計期間 （自平成28年4月1日 至平成28年6月30日）	当第1四半期連結累計期間 （自平成29年4月1日 至平成29年6月30日）
売上高	6,169,272	5,611,020
売上原価	5,564,740	5,041,711
売上総利益	604,531	569,308
販売費及び一般管理費	626,220	610,753
営業損失（△）	△21,689	△41,444
営業外収益		
受取利息	1,169	1,050
受取配当金	6,878	7,738
持分法による投資利益	4,795	3,964
貸倒引当金戻入額	9,759	4,636
その他	5,388	8,684
営業外収益合計	27,991	26,074
営業外費用		
支払利息	1,880	2,811
保険解約損	408	—
営業外費用合計	2,288	2,811
経常利益又は経常損失（△）	4,013	△18,181
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期 純損失（△）	4,013	△18,181
法人税等	14,046	△2,106
四半期純損失（△）	△10,032	△16,075
非支配株主に帰属する四半期純利益	—	—
親会社株主に帰属する四半期純損失（△）	△10,032	△16,075

(四半期連結包括利益計算書)
(第1四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 平成28年4月1日 至 平成28年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 平成29年4月1日 至 平成29年6月30日)
四半期純損失(△)	△10,032	△16,075
その他の包括利益	—	—
四半期包括利益	△10,032	△16,075
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△10,032	△16,075
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

（3）四半期連結キャッシュ・フロー計算書

（単位：千円）

	前第1四半期連結累計期間 （自平成28年4月1日 至平成28年6月30日）	当第1四半期連結累計期間 （自平成29年4月1日 至平成29年6月30日）
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失（△）	4,013	△18,181
減価償却費	73,526	75,200
賞与引当金の増減額（△は減少）	14,700	23,000
退職給付に係る負債の増減額（△は減少）	9,300	9,270
貸倒引当金の増減額（△は減少）	△9,759	△4,636
受取利息及び受取配当金	△8,047	△8,788
支払利息	1,880	2,811
持分法による投資損益（△は益）	△4,795	△3,964
売上債権の増減額（△は増加）	1,021,063	759,112
たな卸資産の増減額（△は増加）	381	229
仕入債務の増減額（△は減少）	△780,145	△447,233
未収入金の増減額（△は増加）	5,227	30,194
未払費用の増減額（△は減少）	△6,058	△4,528
未払金の増減額（△は減少）	△32,909	△40,798
未払消費税等の増減額（△は減少）	18,039	10,336
その他	△23,493	△7,144
小計	282,923	374,878
利息及び配当金の受取額	28,019	16,259
利息の支払額	△1,880	△2,811
法人税等の支払額	△44,015	△11,046
営業活動によるキャッシュ・フロー	265,046	377,279
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△612,501	△28,387
無形固定資産の取得による支出	△1,904	△5,623
貸付けによる支出	△34,000	△28,000
貸付金の回収による収入	34,910	27,670
投資活動によるキャッシュ・フロー	△613,495	△34,339
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入れによる収入	150,000	—
長期借入れによる収入	377,000	—
長期借入金の返済による支出	△30,630	△80,952
配当金の支払額	—	△536
リース債務の返済による支出	△4,660	△4,193
財務活動によるキャッシュ・フロー	491,709	△85,681
現金及び現金同等物の増減額（△は減少）	143,260	257,258
現金及び現金同等物の期首残高	2,034,423	2,158,269
現金及び現金同等物の四半期末残高	2,177,684	2,415,527

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

税金費用については、当第1四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純損失に当該見積実効税率を乗じて計算しております。